

ジェノヴァ (Genova) 、ピサ (Pisa) 、フィレンツェ (Firenze) 、1泊旅行

ミラノ・ロゴレドからジェノヴァに行き、そこから地中海の海岸線をピサへ、そしてフィレンツェまで行く欲張り1泊旅行を行いました。訪ねる街はすべて世界遺産に登録されている観光名所です。こんな贅沢な旅行はありません。でも、実際には、1泊旅行ではとてもすべてはカバーできないので、一緒に行った連れは、フィレンツェにもう1泊しています。ピサ以外のジェノヴァとフィレンツェは2回目でもあるので、1泊でも何とかこなせたのですが、初めての人なら2泊目をフィレンツェで取るのがお奨めです。このコースは違うタイプの3つの街を観光できますので日本から来た人には十分に満足できる旅行になると思います。

ミラノを出るときは、深い霧に包まれ、非常に冷え込んでいて今にも雨が降りそうな天気でした。ジェノヴァまでの列車からも霧と雨で視界は悪く、たまに見える溪谷と村々がわずかに旅行気分を盛り上げてくれる程度でした。しかし、ジェノヴァに朝の10時過ぎに到着すると、霧は晴れて雨はすっかりやみ。青空まで出てきたのにはびっくりしました。それに、ミラノに比べると非常に暖かく、着ているものを一枚脱いで宿泊予定のホテルに荷物を預けることとなりました。ジェノヴァでは、世界遺産のストラダ・ヌオーヴァが観光の目玉です。王宮と赤・白・ドゥルシ宮殿及び途中のアンヌンツィアータ教会を観光して、いよいよ昼食です。ドゥカーレ宮殿近くのレストラン街で、美味しそうなレストランを見つけて、ジェノヴァ名物のトゥロフィエ（パスタ）にジェノヴェーゼ・ソースをかけた料理とサーモンのキッシュのサラダを食べました。このレストランはメニューが5,6品しかないレストランでしたが大正解で、非常に美味しいジェノヴェーゼが食べられました。その後、サン・ロレンツォ教会、ジェノヴァの旧港を観光し、旧市街の細い路地の店を冷やかしながら Porta dei Vacca を通って、駅近くのホテルで一休みです。暗くなってからまた街へ繰り出し、今度は駅近くから新しい地下鉄に乗ってフェラーリ広場まで行き、コロンブスの家からソプラナ門を通り、またドゥカーレ宮殿近くのレストラン街へ出ました。今度は、更に奥のほうに行き、名もない教会近くの広場にぽつんとある如何にも美味しそうなレストランで夕食です。このレストランには、これもジェノヴァ名物の料理であるカッポンマグロがあり、早速賞味しました。このレストラン（満員でした）も大正解で、とても美味しい夕食を取る事が出来ました。新鮮な海産物の多いジェノヴァは食の街であること再認識です。特に、ジェノヴァで食べるジェノヴェーゼ・ソースは最高です。今まで食べたジェノヴェーゼ・ソースとは比べ物にならないほど美味しく感じました。



ジェノヴァでは、贅沢に5つ星のサヴォイア・ホテルに宿泊でした。でも、1部屋130ユーロです。さすがに5つ星で、ホテルの調度品も1級品で部屋もきれいで素晴らしいホテルです。もちろん、朝食も充実していましたが、7時47分発のピサ行きに乗るために、朝食に時間をかけて食べられなかったのが残念でした。日曜日の朝は、ジェノヴァは雨でしたが、生暖かい変な天気でした。駅で列車を待っているときは激しい雨で、列車に乗ってからも雨が続き、車窓からの地中海もチンクェッレもぼやっとしていました。それが、トスカーナ地方に入ると、雲が切れて晴れ間が出てきたのです。10時過ぎにピサに到着したときには、大きな青空で気温も高くセーターも要らない程でした。ピサ駅からバスでミラーコリ広場に行くと、観光客でいっぱいです。久しぶりに大勢の日本人観光客にも会いました。ピサは、斜塔、ドゥオモ、洗礼堂が観光の目玉です。その他は観光客目当ての土産物屋なので、さっさと観光して引き上げるのが良いと思います。ピサの斜塔の入場は予約制でしたが、チケット売り場で予約をすると、次の時間帯のチケットが購入できました。荷物を預けて早速斜塔に登ると、上からのドゥオモ広場とその先のトスカーナ地方は素晴らしい景色です。気温も高く、登りも結構きつかったのですがセーター無しでも全く寒くはなく、塔頂では風がすがすがしいくらいでした。続いて入ったピサのドゥオモの内部は素晴らしかったのですが写真撮影は禁止です(1枚撮ってしまいました)。洗礼堂は、撮影はOKですが、入場料(5ユーロ)の価値は無いように感じました。



ピサの駅の傍で昼食を取り、午後1時半の列車でフィレンツェに向かいました。フィレンツェまでの列車は混んでいます。利用者はほとんどが観光客ですのでピサの人気の高さがわかります。フィレンツェのサンタ・マリア・ノヴェーラ駅はとても大きくきれいな駅でした。さすがに北イタリア最高の観光地です。駅前に出ると直ぐにサンタ・マリア・ノヴェーラ教会が目に入り、この駅で降りた観

光客には、フィレンツェ観光の期待感が更に膨らむものと思います。でも、その期待を裏切らないのが花の都フィレンツェです。他の街とは桁違いの観光名所であることは間違いありません。少しだけ街を歩くだけで、誰もがそのことを感じます。そんな街を半日で見て回ることは不可能ですので、フィレンツェでもう1泊する連れの3人をウフィチ美術館（ここも予約無しでしたが直ぐに入場できました）まで送り届け、その後、1人で街を歩き回りました。ドゥオモとセニョーリ広場の間はどの道も観光客でいっぱいです。それに続くポンテ・ヴェッキオもピッティ宮殿までは観光客でうずもれていました。そして、人の少ない川沿いを歩きサンタ・クロッチェ教会を見て来ました。日暮れの教会はとてもきれいで、周りの中世の街並のシルエットに溶け込んでいて感動的でした。これだけすばらしい街なので観光客が多いのも仕方がないと思います。



ロゴレドからジェノヴァは、いつものレジョナーレで1時間40分（9.1ユーロ）です。ジェノヴァからピサは、IC（インター・シティ）で2時間30分ですが、インターネットで購入すると、AMICA割引で1人が12.2ユーロでした。ICは料金は安い上に、レジョナーレに比べると非常にきれいで乗り心地も良い列車でした。ピサ駅からのバスは1ユーロ（60分有効）で、駅のタバッキで購入できます。ここで往復購入しておいたほうが良いでしょう。ピサからフィレンツェは、レジョナーレで1時間（5.6ユーロ）です。フィレンツェ市街は徒歩での観光をお奨めします。最後は、フィレンツェからミラノまでですが、これはユーロスターに乗りました。2時間10分で途中泊まる駅はボローニャだけです。金額は44.7ユーロと高額ですが、速い上に非常に快適です。本数も1時間おきに出ていて非常に便利だと感じました。但し、フィレンツェまで往復で90ユーロですから、日帰り2日間行くよりは、ホテルの多いフィレンツェで1泊した方がお得です。